みんなの声

滝沢ニュータウンに住んで滝沢市を考える

私は、県南の旧前沢町の出身であるが、昭和23年から盛岡市で暮らし、県の農業試験研究機関に勤めて定年を迎え、その後、平成7年に滝沢村の滝沢ニュータウンに引っ越しをした。当時のニュータウンには、日常の買い物ができる店も多く、さらに第二の職場に通うための盛岡行きのバスの本数も多く快適な毎日を送ることができ、滝沢村移住を喜んでいた。

しかし、最近の滝沢ニュータウン周辺はどうだろう。年と共にスーパーは無くなり、薬店も食料店も食堂も次々に消え、町はさびれる一方である。

一方、滝沢村は西瓜の産地だと言われているが、引っ越し当時、随分あちこちに見られた西瓜畑は殆んど姿を消し、第一、滝沢に住みながら滝沢西瓜は高価で殆んど口にすることはできず、口にするのは県外産ばかりである。

滝沢中央病院は立派な病棟が建った。しかし、家族が通う病院は、相変わらず盛岡市内の病院ばかりである。明らかに医師不足、そして診療科目の不足なようである。

滝沢市は、かつて盛岡市との合併を反対したが、何がメリットだったんだろうか。

盛岡市のバス利用券の補助など、あちらの事業の良さにばかり気がひかれる。もっともバス券の補助を行えば、人の動きは益々盛岡方面にばかり動くということになろうか。

私は、広い滝沢の他の地域の実情は殆んど知らないし、出かける機会もほとんどない。活性のある地域もあるのであろうか。

菅野議員さん、貴方は若くして努力をして獨協大学を卒業された。人々の苦労も知る方と伺っております。その心を忘れずに、若い人にも年老いた人にも住みよい滝沢ニュータウン、いや滝沢市になれるよう力を発揮されるようお願い致したいと思います。

小さな話題ばかり申し上げましたが、古い一関中学校（現一関一高）の先輩として、菅野議員さんの一層のご努力をお願いしたいと願っております。

滝沢市鵜飼狐洞
千葉　明

編集後記

明けましておめでとうございます。

さて、コロナウィルスが、全国的に落ち着いておりますが、皆様、穏やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。師走からの変異株の流行で先行きの不透明感は否めませんが、ワクチン接種の広がりによるコロナウィルスの収束に期待したいものです。

今年の干支は、寅です。辛く厳しい冬はいずれ終わり、暖かい春が来ます。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく咲き誇ります。それが「壬寅」(みずえとら)です。

今年は、鬼越蒼前神社元旦祭から始まり、6月のチャグチャグ馬コ、7月の岩手山の山開き、8月のさんさ踊りなどの滝沢の伝統行事を楽しみたいものです。

蒼前神社に初詣をし、「みんなが元気に幸せに暮らせるよき年になるよう」祈願しました。今年もよろしくお願いいたします。また、次号でお会いしましょう。

かんの福雄事務所　ふくちゃん通信 No.3　2022年1月発行

〒020-0668 岩手県滝沢市鵜飼狐洞1-245-B　TEL 019-601-8678 FAX 019-601-8679

滝沢市議会議員 | かんの福雄

ふくちゃん通信

No.3

発行／かんの福雄事務所　2022.01

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに令和4年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろよりご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと新型コロナウイルス感染症、東京オリンピック・パラリンピック、総選挙、世界遺産2件登録、地球温暖化による気象災害など、たくさんのニュースがありました。その中でも大谷翔平選手に元気をもらった人は大勢いたと思います。奥州市長は「コロナ禍で市民や全国の皆さんがうつむく中、毎朝、大谷選手の活躍のニュースで笑顔になれた。本当にありがとう」と祝福しましたが、最高の笑顔と多くの感動をありがとうとたたえたいものです。

さて、市議会議員生活も3年目に入り一般質問の機会が10回目となりました。

私は、滝沢市は財政再建が大きな課題であり、自主財源の確保のためのふるさと納税の寄付環境整備の推進について、一貫して力を入れて参りました。その結果、県内他市町村に比較して納税額が低いことが複数の議員の話題となり、予算決算委員会の中で「ふるさと納税に係る観光・地域資源について」の自由討議が行われました。議員間の理解を深めるとともに公開することにより議会としての説明責任を果たし、当局へインパクトを与えたものと考えます。すばらしいふるさと滝沢市をアピール発展させる機会でもあり、地元生産者の応援や市の活性化につながる有効な事業です。2年度は、ポータルサイトの増設で成果が上がりましたが、特産品の開発認定ゼロ件や「馬芋ん」の製造中止、県外へのPR不足などの課題が浮き彫りとなりました。

次に、災害対策基本法の一部改正により、災害発生時に高齢者や障がいのある方等が直接指定福祉避難所に避難できるよう整備することが求められており、実現に向けて要支援者の「すぐ福祉避難所へ」の声を届けました。当市においても支援を必要とする方が安全に避難できる個別計画の策定を行い、体制づくりが進められることになりました。

総務教育常任委員会においては、スクールガードの在り方について、市教育委員会の事務調査及びスクールガードへのアンケートを行い、貸与品や講習会、なり手の確保について調査を実施しました。広聴常任委員会においては、昨年中止となった議会報告会を、6月9日議場よりユーチューブ動画配信で開催しました。

新しい年を迎え、滝沢市の重点施策である「健康づくりは幸せづくり」、「若者定住促進」を推進するとともに「COP26」の温暖化対策や「SDGs」(持続可能な開発目標)の「だれ一人取り残さない」の潮流を受け止めながら、滝沢市の自然を守り、市民福祉の向上に努めてまいります。今後も市民と議会のパイプ役として精進して参りますのでよろしくお願いいたします。

結びに皆様のご多幸を心より祈念申し上げ新年のあいさつといたします。

かんの福雄　MESSAGE

ひとつの滝沢、みんなの滝沢　市民派　5つのスローガン

1 市民と議会のパイプ役
市民参加の議会と財政再建を目指し、透明性確保と課題解決能力の向上に努めます

2 福祉の充実
障がい者、高齢者が住みなれた地域で暮らせるよう医療、介護、福祉の充実に努めます

3 安心、安全町づくり
地域の交通安全と防災教育に務め、危険区域を点検し対策を講じます

4 子育て支援
仕事と育児が両立できるよう子育て支援策や学童保育等の充実に努めます

5 産業の活性化
地場産業の活性化により若者が定着できる産業を創出します

議会報告だより 一般質問Q&A

令和3年6月一般質問から

Q 高齢者のワクチン接種完了の見通しは

A 7月末までの接種完了を目指すために、岩手西北医師会と協議中です。個別接種実施の医療機関では、接種人数の増加も検討中です。さらに県が行う集団接種に対する予約サポートも含め、早期の接種につなげます。

Q 自治体クラウドは情報システムに係る経費の削減や住民サービスの向上を図るために有効で、他自治体では、いわて北自治体クラウド共同利用推進協議会に加入し、活用が進んでいるが、本市が不参加の理由は

A 人口規模やシステム構成の類似性、更新時期の違いもあり参加していません。

Q ふるさと納税の魅力ある返礼品の開発に向けて外部業者導入の考えは

A 寄付しやすい環境づくりを目的に職員体制を強化し、ポータルサイトを2サイト追加し、合計3サイトとしました。また、返礼品の見直しや新規の追加を行った結果、2年度は対前年度比約1.8倍になりました。さらに環境を整え、寄付をいただけるよう取組みます。

令和3年9月一般質問から

Q 福祉避難所の運営は

A 本市の福祉避難所は、現在7法人9施設と災害時における協定を締結しております。災害発生時には、避難者が最寄りの避難所に避難してから、高齢者、障がい者の方などの必要に応じて福祉避難所に移ることにしています。今回の施行規則改正により支援を必要とする方が直接指定福祉避難所に避難できるようになります。福祉避難所指定、対象者の把握、物資供給等の調査検討を進めます。

議会演説の様子

Q 岩手緊急事態宣言が発令され、一日の最大想定感染者数を超えた事態の対応は

A クラスター発生を抑えるために、小中学校教員等のワクチン接種を9月中に終える見込みです。市内の感染拡大を抑制する取組を行い、県の方針に基づきながら対策を検討します。

Q 市職員の勤務体制は

A 不要不急の出張や外出を避け、会議や研修はオンライン等で行います。

Q 市内企業への対応は

A テレワークに関する補助金を支給し、58事業所で環境整備をしました。

Q 外出・通院困難な方へのワクチン接種は

A 配慮が必要な方への接種は状況を把握し、個別に医療機関と協力して対応します。

Q ふるさと納税の実績と全庁挙げての取り組みは

A 昨年に比べて件数が104件増えていますが、寄付額は28万円ほど減っています。10月にはポータルサイトを1つ追加する予定であり、引き続き経済産業部を中心に事情を推進します。

ふるさと納税とは、生まれた故郷や応援したい自治体に寄付ができる制度です。手続きをすると、寄付金のうち2,000円を超える部分については所得税の還付、住民税の控除が受けられます。あなた自身で寄付金の使い道を指定でき、地域の名産品などのお礼の品もいただける魅力的な仕組みです。

ボランティア活動から

上の山かんからボランティア
毎月第4日曜日　午前8時から
上山団地公園
上山団地内の新聞紙等資源回収等

スローショッピング
～認知症になっても住みよいまちづくりプロジェクト～
毎週木曜日　午後1時から3時
マイヤ滝沢店
（新型コロナ感染症拡大防止のため一時休止しました）

介護家族のつどい
～認知症の人と介護家族のつどい～
毎月第3月曜日
午後1時30分～3時30分
滝沢市市民福祉センター

ふくちゃんコラム

地域包括ケアシステムってなあに?

地域包括ケアシステムとは、団塊の世代が75歳以上となる2025年をめどに、だれもが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで送ることができるよう、市区町村と地域で「医療・介護・生活支援・介護予防・住まい」を一体的に提供し、すべての世代で支え、支えられるまちづくりをする取組です。

○地域包括ケアシステムの背景(2025年には超高齢社会を迎えます)

2025年には、65歳以上の高齢者は3,677万人となり総人口の30%を占め、認知症患者も高齢者の5人に1人の割合になると予想されています。(2025問題)

高齢者が増えれば、その分医療や介護の需要が増加し介護保険や医療保険などの公費だけで高齢化社会を支えることに無理が生じてきました。このまま医療や介護の需要が増え続ければ、病院や施設の数、職員が不足して現場が機能しなくなることは目に見えています。そこで2025年をめどに地域の包括的な支援・サービス提供体制を整えることにしたのです。

○地域包括ケアシステムの姿とは(地域で連携して必要に応じたサポートを提供します)

1 医療のサポート　日常の医療をかかりつけ医や地域の連携病院が担い、病気になった際の入院は急性期病院が担います。

2 介護のサポート　ケアマネージャーによるケアプランの作成や事業者を調整し、訪問介護(訪問看護)通所介護などを提供します。

3 介護予防・4 生活支援のサポート　老人クラブ、自治会、ボランティア、NPO法人が主体となり、カフェやサロンの開催、配食+見守り、安否確認などを行います。介護予防サービスを活用し、要支援の人も自宅で暮らしていけるよう体制を整えます。

5 住まいのサポート　自宅やサービス付き高齢者向け住宅など人生の最期まで暮らす場所です。

※地域は、おおむね30分以内にサービスが提供できる日常生活圏域(中学校区域)とされ、その市区町村の地域包括支援センターやケアマネージャーが主体となってコーディネートします。

○滝沢市北部 **(松実会地域包括支援センター)** 南一本木、北一本木、いずみ巣子、柳沢、川前、巣子、南巣子、長根

○滝沢市中部 **(滝沢市地域包括支援センター)** 室小路、元村南、国分、元村中央、南牧野林、法誓寺、元村東、元村西、元村北、あすみ野、牧野林中央、姥屋敷

○滝沢市南部 **(滝沢市地域包括支援センター)** 小岩井、大釜上、大釜南、篠木、大沢、鵜飼南、上鵜飼、鵜飼中央、上山、滝沢PT、鵜飼温泉、滝沢NT

○みんなが助け合い、自助・互助・共助・公助の役割を分担し、豊かな高齢社会をつくりましょう。

誰もが安心して暮らすための地域包括ケアシステムを実現するためには、公的なサービスだけでなく、**自助**(介護予防に取組み自分自身のケアを行う)、**互助**(家族や親戚、地域での暮らしを支え合い)、**共助**(介護保険・医療保険サービスなどの利用)、**公助**(生活困窮者への対策として生活保護支給などを行う行政サービス)という4つの助を連携し、**高齢者自身、ご家族、地域住民・自治体・ボランティア、関係機関が**一体となって取り組むことが求められます。高齢者だけではなく子育て世帯、障がい者などを含む地域に暮らすすべて総合的、包括的なしくみを作り上げていくことが必要です。

○滝沢市の現状は?

第8期高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画(令和3年度から令和5年度までの3年間)では、「長寿社会の安心と生きがいのための支援」「住み慣れた地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現」を目指し推進しています。

(R3.3月現在)

	H12 (介護保険法成立)	H17 (包括センター設置)	R2	R7 (2025年)	R17 (2035年)
人口	51,065	53,002	55,506	55,998	53,935
65歳以上	5,620	7,124	14,263	15,246	16,276
高齢化率	11.01%	13.40%	25.70%	27.2%	30.2%
要支援・要介護	535	1,084	2,236	2,653	3,610

○高齢者のみの世帯5,880世帯(全世帯の24.8%)独居の高齢者3,050世帯(高齢者世帯の51.87%)

滝沢市では年々高齢化率が上昇するとともに要介護、要支援認定者も増加しています。2025年には団塊の世代が後期高齢者となり医療、介護ニーズが増加し、それに対し生産年齢人口は減少し、介護の担い手が不足することが見込まれています。